

NO.152 2008/3

kaihou ISHIKAWA

土地家屋調査士



石川県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目 次

一年間の副会長を経験して 1

石川県土地家屋調査士会 副会長 大岡外美夫

来期へ向けて 2

石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 理事長 山田 豊

会報いしかわヒストリー 3

広報部長 石野 芳治

支部長の素顔に迫る（15項目の質問） 8

写) 真) 説) 明)

新生「kaihou ISHIKAWA」の第2弾!!

天気のよい日に、息子達（7歳・1歳）を公園に連れて行き撮りました。

広報グッズ着用とすることで、帽子を持って行きましたが、普通に撮ろうとしても次男がすぐに帽子を取ってしまうので、スベリ台に乗って喜んでいるところを、カメラをもったママが後ろ向きにすべりながら撮った一枚です。

今後も会員のお子さん・お孫さんの写真を表紙に採用していきます。

自慢の写真を調査士会もしくは会報編集室まで送ってください。

会報編集委員 保科 知彦

支部だより

金沢支部 10

支部長 村谷 正己

小松支部 11

支部長 道場 昌之

坂本清一先生黄綬褒章受章 12

記念祝賀会 13

おめでとう！結婚報告 14

本会からのお知らせ

研修部長から 15

広報部長から 15

財務部長から 16

information・事務局 16



一年間の副会長を経験して

石川県土地家屋調査士会

副会長 大岡 外美夫

私が所属する七尾支部には、平成17年から3名の若い土地家屋調査士の入会があり、私も昨年の七尾支部定時総会で支部長を退任させて頂きました。

昨年の3月頃、小林会長に能登から副会長として就任の要請を受け、私としては、思いもしなかったことで正直なところ副会長になるなら、支部長をもう1期やらせてもらった方が良いのにと思いました。その時期には、七尾支部の役員会で次期支部長が決まっており、副会長を断る理由が見当りませんでした。

昨年の本会定時総会にて、副会長として会員の御承認を貰い、財務担当の副会長としての活動が始まりましたが、私は財務担当の役職経験もなく少し戸惑いました。本会の財務会計は会計ソフトも導入され、経験豊富な亀田事務局長と若い有川財務部長に任せることにし、財務の大筋が間違わないように見守ることにしました。

昨年は能登半島地震が3月25日に発生し、4月10日に本会地震対策委員会が立ち上がり、4月13日に行行政総合評価事務所主催による地震被害者相談会が輪島市役所門前支所にありました。そして、4月16日から地震被害者無料相談会が始まり、何回か門前に足を運びましたが、地震被害の大きさと共に若い人の少なさに金沢との格差を実感しました。まさに、いろいろな事を経験した一年だったと思います。

今年の2月7日に愛知会主催の「愛知境界シンポジウム」に参加させて頂きましたが、その中で、講師の大学教授七戸克彦先生の基調講演（不動産登記制度の未来）と、パネルディスカッション（未来の調査士像）がありました。私がもっとも印象に残ったことは、土地家屋調査士試験の受験者及び合格者が減っていることが、土地家屋調査士制度の根幹に係わる問題との指摘があったことです。

このことについて、七戸先生がすばり、「土地家屋調査士の仕事が儲からないから若い人に魅力がないのだ」と言われましたが、先生は分かり易い表現で話されたものと受け止めています。しかし、私は私を含め土地家屋調査士自身が社会に必要とされるための努力に欠けていた面があることも認め、今、土地家屋調査士制度を守るためになく、発展させるために真剣に取り組む必要性を感じています。



来期へ向けて

石川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

理事長 山田 豊

日頃、当協会の運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

今期は、国の機関が発注する業務がほとんど入札による発注となりました。当協会は、随意契約による業務受託を基本とすることには変わりはありませんが、必要最小限入札に参加することもやむを得ない状況になってきました。入札参加にあたり、「清潔」「誠実」な対応により、調査士業界全体が健全な団体であることをアピールすることが当協会の責務と心得ています。

発注官庁の予算縮小により、当協会も売上げが減少傾向にあります。従来型の「待っているだけ」の業務受託では売上げ減少に歯止めをかけることが出来ないため来期は次の二つの業務開発を中心に行っていきます。

一つ目は、まだ契約を締結していない官庁と単価による随意契約を締結することです。公嘱協会社員の高い知識、豊富な経験、業務の迅速性をアピールし、一つでも多くの官庁と契約を締結することです。

もう一つは、提案型の業務開発です。すでに契約を締結していただいている官庁に対し、新規業務（地籍調査、未登記建物、狭隘道路、街区基準点管理等）の必要性を官庁の法令遵守、住みよい街づくり等の面から説明し、業務受託するものです。

どの業務開発も簡単なものではありませんが、社員の皆様のご協力が必要です。

公嘱協会は調査士業界の基礎であるというのが私の自論です。公嘱協会の健全な発展があれば必ず調査士業界全体の発展につながります。

今期同様、来期も社員の皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。

会報いしかわヒストリー

広報部長 石野 芳治

前回より新たな一步を踏み出した「会報いしかわ」ですが、今回はこれまでの会報いしかわの変遷をたどってみたいと思います。

石川会に会報が誕生してはや30ン年、懐かしいと感じ当時を思い出す会員もいれば、初めて見る会員もいらっしゃるかもしれません。これまで何度かリニューアルした「会報いしかわ」をそれぞれ時代別?にまとめてみたのでご覧ください……。

Ver.1 創刊号 1976 (S51) 年10月~第18号 1984 (S59) 年3月

記念すべき『会報いしかわ』創刊号です。表紙の題字は浜詰先生、写真は稻村先生の撮影だそうです。

1976 (昭和51) 年10月25日に我会最初の会報が創刊されました。清水隆範会長のもと浜詰企画部長を中心に編集されました。当時は会が発足してから20余年経ち内外から会報(機関紙)の必要性を訴える声があり、また企画部長の「会報も出さない会でどうする!」という強い意志の元で編纂されたとも聞きました。

この時の会報も現在と同じように年2回(秋と春)の発行ですが、事務連絡の記事よりも会員からの随筆等の寄稿がたくさんありました。年2回から月1回の発行になり1年ほど休刊の後再開され年2回ペースへとなりました。昭和50年代後半より、会館建設に関しての記事が多いのが目に付きます。私にとっていまの会館は当たり前のように存在しておりますが、創刊時は兼六町に部屋を賃貸し会館としていました。それまでは

(創刊号) 会報 いしかわ 昭和51年10月25日



創刊号



石川県土地家屋調査士会

時の会長の事務所を間借りしていたようです。現在の会館建設に至るまでいろいろなことがあったようですが、各号の会長の挨拶や寄稿文の中には何度も会館建設という言葉が出てきます、そのあたりからも当時の機運が感じ取れ、さらには担当されている会員のご苦労がにじみ出ています。そして何とか建設…落成し、第18号は会館建設落成記念号になっています。落成式は、局長はもちろんのこと県知事ご本人をはじめ多くのご来賓の方に出席いただき、大いに盛り上がっていたようです。

Ver.2 第19号 1984 (S59) 年5月～第75号 1990 (H2) 年2月

〔注〕昭和59年5月1日

石川県土地家屋調査士会会報

第19号



理事・支部長・綱紀委員長合同会議開催

さる3月17日、石川県土地家屋調査士会館で理事・支部長・綱紀委員長が一同に会し、合同会議を開催した。
議事に入る前に林会長から、顕彰問題、会則91条の處理についての条件があったので、綱紀委員長の出席を求めた旨の説明があり、議事に入った。

1. 議案

(1) 総務部

- (1) 会館建設特別委員会規程廃止、委員会解散の件。
第2条の目的が達成された時は解散するとなっ
ている。3月31日をもって解散することで承
認。
- (2) 会館管理責任の件。
理事会に帰属することを承認。
- (3) 会館使用規則の制定の件。
本日制定することで承認。(後記記載)
- (4) 新入会員に対する会館協力金制度について。
必要でないという意見もあり、入会金に含め
られないかの意見もあったが、借入金の返済
期間、2万円を協力してもらうことで承認。
- (5) 顕彰について。
法務大臣、日調連、名古屋法務局長、金沢地
方法務局長、石川県土地家屋調査士会長の被
表彰者をすいせん。

(6) 総会の件。

5月19日、午後1時より会館で開催。

(7) 支部総会日時について。

(8) 会則一部変更の件。

(9) 4月1日より文書を横書きとする。

(10) その他

・年計表集計の結果

総件数 2,486,666 件

金額 978,166,292 円

・行監、法務局役官事件について

(11) 経理部

(12) 2月現在予算執行状況について。

(13) 備品台帳作成について。

発行所
石川県土地家屋調査士会
会員登録料13丁目9番27号
TEL 0763(9)1-1628(0)
印 刷
株式会社 高松印刷

- (1) 職員給与昇給について。
- (2) 支部交付金の交付率について。
- (3) 廃棄品の承認について。
- (4) 会計監査の時期。
- (5) その他。
- (6) 企画部
 - (1) 3月22日、23日中部六県新入会員の研修会について。
 - (2) その他
報酬研究指導委員会を設ける。
- (7) 厚生部
 - (1) 現行共済規定の運用について。
- (8) 広報部
 - (1) 表示登記の日の行事について。
 - (2) 会報について。
 - (3) 登記無料相談運用規準策定について。
- (9) 公共事業部
 - (1) 公制登記受託推進について。
- (10) その他

支 部 だ よ り

小松支部定期総会開催

小松支部ではさる4月7日、山代グランドホテルに於いて昭和59年度定期総会を開催し、下記議案につき慎重審議の結果、原案通り承認可決された。

議 案

- 第1号議案 昭和58年度収支決算報告及び承認の件
- 第2号議案 昭和59年度事業計画案審議の件
- 第3号議案 昭和59年度予算案審議の件
- 第4号議案 その他

七尾支部でも定期総会開催

小松支部に続き七尾支部でも、4月14日和倉温泉ホ
テル「寿蔵」で会員多数参加の上、定期総会を開催し、
下記議案につき、慎重審議の結果、原案通り承認可
決された。

議 事

続いて1984（昭和59）年5月1日
発行の第19号です。

会報が創刊されて8年経過、会務の報告・業務連絡等がメインの新聞タイプ?にリニューアルされました。これは、会員からの寄稿が少なくなってきたわけではなく、会務もより活発になり（それまでも十分多忙であったが）、それを会員に着実にお伝えしようとの意義があったに違いないと思います。

ざっと目を通してみると、理事会等の要旨であったり、法改正等による資料等がたくさん載っており、今ではFAXで送られてくるような情報ですが、FAXのない当時としては貴重な情報だったのに違いありません。ちなみに第53号（昭和62年9月発行）にFAX設置と書いてありました。

そういう観点から考察するに、この頃から調査士業務も着実に進化し始めてきたのではないかという推定もできます。そういう時代の変化に会員の皆がついてこれるように情報伝達を確実に行うという大事な役割を担っていたことと思います。

Ver.3 第76号 1991 (H3) 年5月～第80号 1993 (H5) 年2月

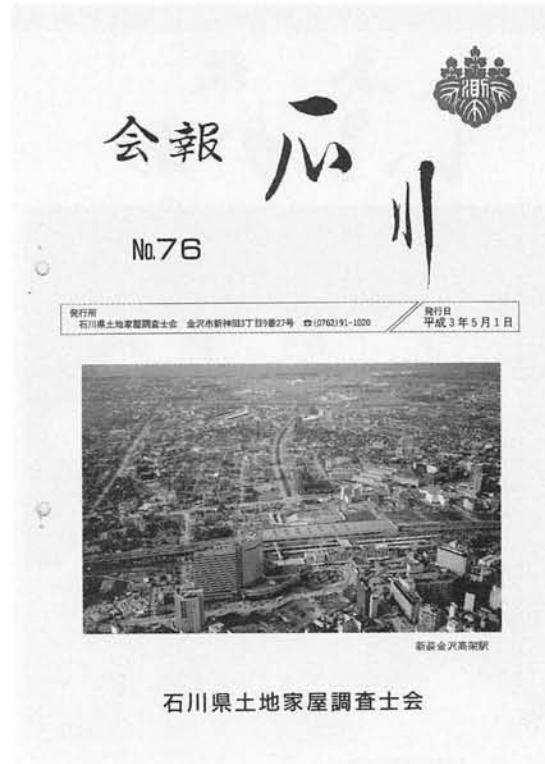
1年ちょっとの休刊後再発刊されました。1991(平成3)年5月1日発行第76号です。

題字は林要建会長によるもので写真は荒木会員が熱気球から撮影したものです。

新聞形式から冊子形式にかわり、結構現在の状態に近い様式になっています。

この形式で5回しか発行されませんでしたが、愛媛会視察の報告等をはじめ各号ボリュームのあるものでした。

実はこの形式になって3号目になる第78号の編集後記には「会報発刊は本号までとして、4月より会務情報を主体とした新聞形式として発行する予定です。」と編集後記に書いてありましたが、実際はその後2回、このスタイルで発行されていました…



石川県土地家屋調査士会

Ver.4 第81 1993 (H5) 年7月～第134号 2000 (H12) 年5月

The image shows the front cover of the fourth issue of the newspaper, Volume 81, dated July 1, Heisei 5. The title 'ISIKAWA' is at the top, followed by '会報ISIKAWA' and 'No.81 7月号'. Below the title is a list of names under the heading '林会長8選' (8th term of the president of the forest). The main text discusses the president's term and the activities of the association. There is also a section titled '業務分担など決まる' (Decisions on work division, etc.) and a note about the second edition of the '会報ISIKAWA'.

以前に「会報終了宣言」が出されたものの、廃刊を逃れ、新編集室により装いもあらたに会報ISIKAWAが発行されました。伝言板的あるいは回観板的なものから、報道のニュアンスを含んだニュースペーパー的なものにしたい。という意気込みのもと作られています。

この形式は約7年の間に55号（増刊号1号含む）発行されたという息の長い形式です。

月1回もしくは隔月で発行され、総会・理事会および部長会等の要旨が載っておりじっくり読むと当時の会の動きが見えてきます。

しかしながら、月1のペースで発行するとなると、当時の編集委員は本当に大変だったことと思います。

この頃の事務連絡はFAX等により迅速に会員に伝達されていたため、そのような記事はあまり掲載されておらず、全体的に会の動きを会員に知らせるという役割を会報が背負っていたのかな~と思います。

Ver.5 第135号 2000 (H12) 年11月～第150号 2007 (H19) 年2月



再度冊子形式に衣替えです。会報いしかわの題字は創刊号時代のものを再登板です。写真は西本元連合会会長の写真です。

私はこの時期に開業しておりますので第136号に新入会員として紹介されており、読み直してみると、こんなこと也有ったな～という記事がよくありました。

年2回になり中身もVer.3（第76号～第80号）に似ています。

この時代は業務報告書として半期に一度会務に関する資料が1冊にまとめられた報告書が発行されていたので、会務報告的な会報はほとんど必要がなくなったため、この様式にかわったのではないかと推測されます。

Ver.6 第151号 2007 (H19) 年10月～いつまで続く…？

そして現在の様式です。
広報部・会報編集委員会もリニューアルしたので、会報も…という半ば思いつきで表紙を変えてしましました。

また中身のほうも気軽に楽しく読めるような記事を！ということで会員（役員）の紹介等もプライベートな部分に掘り下げる掲載してみました。今後もこの調子で行く予定です。

しかし皆様からの賛否の声がなく、ちょっと寂しい部分もあります。編集委員も皆これでいいのか？と自問しながら編集しておりますので、ぜひとも広報部までご感想を送ってもらえると非常にありがとうございます！



最後に

このようにして、「会報いしかわ」は何度も様式をかえ現在まで発刊されてきました。

これまでの会報をずっと読んでみると報酬額・会館建設・公囑協会・法改正・業務内容とその時期の調査士・調査士会の状況をなんとなく感じ取ることができました。

その時々の時代の要請にこたえるべく変化し発行されてきたものであり、当時の編集委員はそれぞれ大変ご苦労なさってきたことだと思います。

これまで発行いたしました会報はすべて事務局に保管しております、皆様もぜひ一度読んでいただき、これまでの石川会の歴史を感じていただけると幸いです。

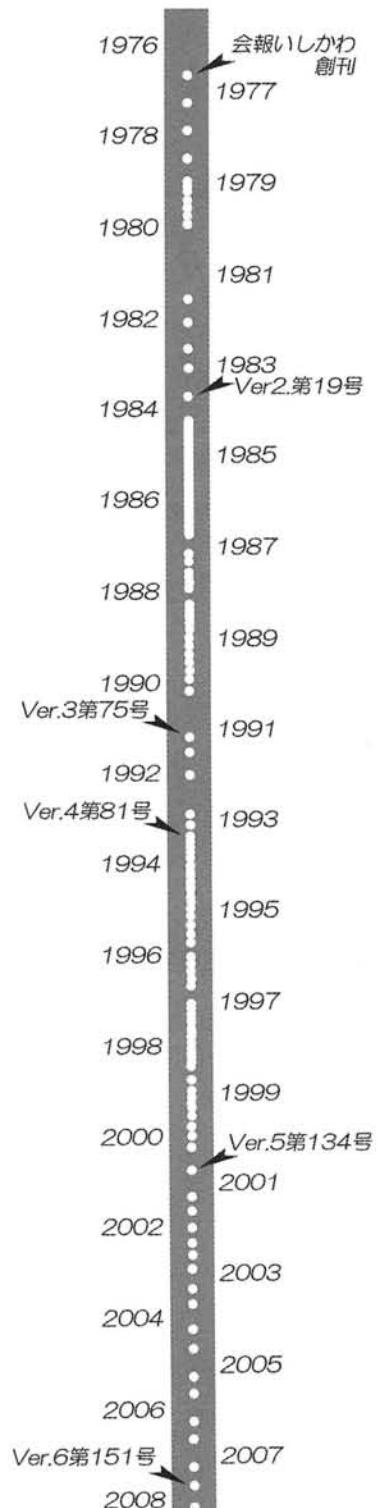
この高度情報化社会の現代において、紙ベースで会報を出すことに異議を唱える声が少なくありません、しかしながら、私はこの「会報いしかわ」は会員相互の絆を深めるツールとしての役割を持っていると考えております。また、そうなるように今後も創意工夫のうえ会報を発行していきたいと考えております。今後も皆様のところに編集委員が取材に行きますので、そのときは是非ともご協力のほどよろしくお願ひいたします。

取材協力 稲村顧問

実は稻村顧問は初代広報部長でもあります、創刊時より会報をはじめ広報に関与されておられましたので、その当時のウラ話もいろいろお聞かせいただきました。
その話はまた今度にでも…
ご協力ありがとうございました。



現広報部長と初代広報部長



支部長の素顔に迫る!

15項目の質問

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| ① 生年月日 | ⑨ 休日の過ごし方は? |
| ② 好きな食べ物は? | ⑩ 忙しいあなた。1週間休みがもらえたならどうしますか? |
| 嫌いな食べ物は? | ⑪ 健康のために何か心がけている事はありますか? |
| ③ お酒は何が好きですか? | ⑫ 月に何回ぐらい飲みに行きますか? |
| ④ 好きな女性のタイプは?
(芸能人でいうと…) | ⑬ 尊敬できる人は誰ですか?
愛読書は何ですか? |
| ⑤ 好きな映画は? | ⑭ 調査士になってなかつたら何をしていましたと思いませんか? |
| ⑥ 趣味は何ですか? | ⑮ 抱負をお願いします。 |
| ⑦ 出身校は? | |
| ⑧ 自分の性格はどんなタイプ? | |

金沢支部長 村谷 正己



- | | |
|-----------------------|--|
| ① 昭和32年3月20日、A型 | ⑩ ハワイカバリでのんびり |
| ② 好…スキヤキ
嫌…特にありません | ⑪ 今春からスポーツバイク(自転車)で
メタボに効くフィットネスを開始予定 |
| ③ 赤ワイン、ジントニック | ⑫ 2~3回 |
| ④ 中山美穂 | ⑬ 尊…二宮尊徳、松下幸之助
読…日経パソコン、デジキャバ(写真雑誌) |
| ⑤ ブルース・ブラザース(古すぎるかな?) | ⑭ 高校3年から調査士しか考えてなかつたので…? |
| ⑥ DVD(洋画)鑑賞、写真撮影 | ⑮ 役員としては微力ながら会員の役に立ちたい |
| ⑦ 金沢市立工業高等学校 土木課 | |
| ⑧ 和気あいあいとした雰囲気を大切にする | |
| ⑨ DVD(洋画)鑑賞、ゴロゴロ | |

小松支部長 道場 昌之



- | | |
|---------------------------------|---|
| ① 年男のねずみ年生れ | ⑩ 北海道へ行く |
| ② 好…イカ刺し
嫌…つけもの全部 | ⑪ ウォーキング |
| ③ しうちゅうしか飲めない体 | ⑫ 月4回ほど(自宅では毎晩) |
| ④ 妻が一番。芸能人でいうと藤原紀香 | ⑬ 尊…本会の会長・副会長・各部長さん
(毎日御苦労様です)
読…特になし |
| ⑤ 特になし | ⑭ 測量士 |
| ⑥ しうちゅうを飲む事 | ⑮ 会員の皆様の研修会・交流会をたくさん開催し、より質の高い会員が増える事を望みます。 |
| ⑦ 東京の測量専門学校 | |
| ⑧ 何事にもさっぱりしていると思うが、
以外とコツコツ派 | |
| ⑨ 家の中でのんびりしてゐる | |

支部長の素顔に迫る!



七尾支部長 高原 渡

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① S30.2.23 | ⑨ 事務所で雑務 |
| ② 好…寿司、ステーキ、天ぷら
嫌…なし | ⑩ 海外旅行に行く |
| ③ スパークリングワイン | ⑪ 腹八分目 |
| ④ 麻生祐未 | ⑫ 1回程度 |
| ⑤ 寅さん | ⑬ 尊…宮本武蔵
読…剣道日本 |
| ⑥ 剣道 | ⑭ 建築士 |
| ⑦ 中央工学校 | ⑮ 七尾支部が盛り上がるよう頑張ります |
| ⑧ 温厚 | |



輪島支部長 松下 信行

- | | |
|---------------|--------------------|
| ① S24.11.6、B型 | ⑨ とうぜん囲碁! |
| ② 好…肉
嫌…野菜 | ⑩ それでも囲碁!! |
| ③ 飲みません | ⑪ やっぱり囲碁!!! |
| ④ 特にいません | ⑫ 2~3回食事はしますが飲まない |
| ⑤ 特にありません | ⑬ 尊…会長
読…会報いしかわ |
| ⑥ 囲碁 | ⑭ 棋士(囲碁) |
| ⑦ 中央工学校 | ⑮ 今日一日精一杯頑張る |
| ⑧ まじめ | |

支部だより

《金沢支部》



支部長

村谷 正己

1. 平成19年11月10日（土）日帰り親睦バス旅行を開催いたしました。支部会員28名、ご家族1名にご参加いただき、奥飛騨温泉～飛騨高山方面に行ってきました。奥飛騨温泉では山の幸が満載の昼食にて宴会後、露天風呂（混浴!!）に入浴。その後、飛騨大鍾乳洞、飛騨高山まつりの森を見学しました。日頃の疲れを癒す楽しい旅行になったと思います。



2. 平成20年2月22日（金）金沢支部・金沢支所合同研修会（51名参加）及び新年会（42名参加）を開催しました。金沢支部研修としては「金沢市街区基準点成果閲覧ソフトについて」を行いました。研修後には、市村会員が所属する『プレジールトリオ』によるクラシックコンサート（ピアノ三重奏）を行い、素晴らしい演奏を堪能させていただきました。新年会は山上雄介会員の名司会のもと、大変盛り上がった楽しい会になつたと思います。



《小松支部》



小松支部では平成19年度、3つの委員会活動を行いました。今回は、それぞれの委員長に活動報告をしていただきました。

支部長
道場 昌之

<調査測量要領委員会> 委員長 南 知伸

調査測量要領委員会では、昨年9月26日に小松市公会堂で開催された支部研修会において調査報告書記載例の発表を行いました。

支部役員および調査測量要領委員が各々調査報告書を持ち寄り、その中から4例を選定し、発表しました。4例の内訳は、地目変更・地積更正・地図訂正を1件で記載する例、所有者を異にする連続する土地の分筆を1件で記載する例、建物滅失・表題を1件で記載する例、建物合体登記の記載例でした。日常業務にありがちな事件の記載例を選定発表できたと思います。

<資料収集委員会> 委員長 多谷 紘史

資料収集委員会では、街区基準点の活用のためにGISMAPⅡを購入し、データCDの配布を会員に行いました。また同時に購入したCabit!Makerに資料室の資料を取り込むことについての検討を行いました。次年度は資料室にある地積測量図などの取り込みを予定しています。

<業務研修委員会> 委員長 勘田 英輔

業務研修委員会では、日頃の業務についての情報や意見交換の場として、昨年12月から月イチで計4回にわたり勉強会を開催しました。

毎回特にテーマを決めず、会員が以前された事例や現在進めている事案における資料の使い方や地番界推定作業等やバラエティに富んだ体験談を発表していただいたり、頭を悩ます事件について意見を交換したりしました。へえ～そんな使い方があるのかと感心させられ、マニュアルからは読み取れない現実に業務を実践するための手法や考え方を学ばせていただきました。

また、土地家屋調査士法や昨年施行された改正建築基準法についても意見を交わしました。気づいていなかった重要ポイントや注意点などを再確認したり、見識を広める良い機会になったと思っています。

今後も定期的に開催し、より有意義な意見交換ができる場になればと思っています。



坂本清一先生 黄綬褒章受章

おめでとうございます



黄綬褒章（おうじゅほうしょう）とは
「業務に精励し衆民の模範である方」に対して授与される栄典です。

日本国憲法（抄）

- 第七條** 天皇は、内閣の助言と承認により、国民のために、左の国事に関する行為を行ふ。
七 栄典を授与すること。
- 第十四條** 栄誉、勲章その他の栄典の授与は、いかなる特権も伴はない。栄典の授与は、現にこれを有し、又は将来これを受ける者の一代に限り、その効力を有する。

褒章は他にも以下のような種類があります。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 紅綬褒章（こうじゅほうしょう） | 自己の危難を顧みず人命の救助に尽力した方 |
| 緑綬褒章（りょくじゅほうしょう） | 自ら進んで社会に奉仕する活動に従事し徳行顕著なる方 |
| 紫綬褒章（しじゅほうしょう） | 学術、芸術上の発明、改良、創作に関して事績の著しい方 |
| 藍綬褒章（らんじゅほうしょう） | 公衆の利益を興した方又は公同の事務に尽力した方 |
| 紺綬褒章（こんじゅほうしょう） | 公益のため私財を寄附した方等 |

（内閣府HPより抜粋）

石川会では 昭和56年 西 河 透 先生
平成 4年 林 要 建 先生
平成15年 瓦 忠 雄 先生

の3名の先生方がこれまで受章（黄綬褒章）されております。

坂本清一先生

黄綬褒章受章
司法書士・土地家屋調査士50周年

記念祝賀会

平成19年秋の国家褒章に際し坂本清一会員が黄綬褒章を受章されました。

この受賞と司法書士・土地家屋調査士50周年を記念した祝賀会が昨年11月26日、ホテル日航金沢にて盛大に開催されました。

石川県総務部次長などの来賓を迎える200余名の出席者のもと、発起人代表である瀧谷工業(株)社長瀧谷弘利氏の挨拶、来賓の祝辞があり、本会からも宮本副会長が祝辞を述べられました。



祝宴では祝いの鏡開きが行われ、北陸民謡会・民謡北川会の演奏などの余興が行われ盛会のうちに閉会いたしました。

坂本先生にはこれからも我々土地家屋調査士会員に対し温かいご指導を頂ければ幸いです。

黄綬褒章受章おめでとうございました。

また、お孫さんからの花束贈呈など、心温まる場面もありました。

その後、坂本先生より謝辞がありました。発起人の瀧谷氏の挨拶の中にもありました、坂本先生は「生涯現役」とおっしゃっておられます。そのお言葉どおりたいへんお元気で、大きな声でお話される姿がとても印象に残りました。



結婚おめでとう

金沢支部 葛西 庄平

この度、平成19年9月30日に太陽の丘ララシャンスにて結婚式及び結婚披露宴を行いました。皆様よりたくさんのお祝いをいただき、心より感謝しております。この場を借りて、御礼申し上げます。

6年前に友人の紹介（合コン）で妻と出会い、その半年後から交際を始めました。当初から結婚を意識していたのですが、結婚がここまで延びたのは、土地家屋調査士の試験に合格してから結婚をしようと考えていたためです。妻の父からは、「何をもたらしとるんや（いつになったら結婚するんや）」と言われ、妻は友人に対して、「私は、いつ結婚できるのかな」と言われる始末でした。

様々なプレッシャーを受けながら、苦労の末、平成18年度の土地家屋調査士試験に合格することができ、無事に結婚することができました。結婚式から半年ほど経ちましたが、慣れない生活に四苦八苦しながらも、楽しく新婚生活を送っています。

まだまだ夫としても土地家屋調査士としても未熟者ですが、少しずつでも成長できるように努力していきたいと思います。



告知！第23回日調連親睦ゴルフ石川大会の開催について

毎年恒例となっております日調連主催の親睦ゴルフ大会が、今年は石川県で開催されます。平成20年9月1日(月)

『小松カントリークラブ』に全国からゴルフ好きの調査士が集結し腕を競います。昨年の宮城大会では、我が石川会の西川義忠会員が第2位、小林彦幸会長が第6位に入る活躍をされております。

今大会でも石川会の会員の活躍を期待すると共に、全国の調査士をお迎えする立場として、大会運営には万全の準備を整えなければなりませんので、会員の皆様のご協力をお願い致します。



研修部長からの土地家屋調査士 電子証明書（ICカード）取得のお願い

平成20年1月15日の不動産登記令の一部を改正する政令等の施行により、従来オンライン登記申請において不可欠だった申請人の住基カードが不要になる等、オンライン登記申請手法の選択肢が増え、以前と比較し柔軟に申請することが可能になってきております。

もちろんオンライン登記申請を行う、行わないは個々の判断によりますが、資格者代理人として顧客から依頼や質問などがあった際に、必要な環境を整えておき、十分な知識を身につけておくことは必須の流れと考えます。この場合、土地家屋調査士電子証明書（ICカード）がなければオンライン登記申請を行うことはできません。

現在石川会ではオンライン申請の普及を目指していきたいと考えております。未だにICカードを取得していない会員は、早急に取得して環境を整えて頂きたいと思います。

また石川会のホームページにオンライン登記申請に関して具体的な手順を示したPDFを掲載しておりますので、参考になさって下さい。

広報部長より中部ブロック統一ユニフォームのお礼

昨年より会報をはじめ、いろいろなところでご紹介しておりましたユニフォームは、多くの会員の皆様よりご注文いただき、長い間お待たせいたしましたが、なんとか皆様にお届けすることができました。

そろそろジャンパーの季節は終わりますが、これからポロシャツの季節になってきます。皆様ご愛用のほどよろしくお願ひいたします。

また、本会のほうにもそれぞれ少しずつではありますが在庫がありますので、前回買い逃した方、さらにはもう1着ほしい方も本会までご連絡ください。

今回の表紙の写真にも調査士帽子をかぶった子供の写真でしたので、次はポロシャツを着た子供の写真もいいかな…と思っております。

表紙を飾る写真を皆様是非とも会報編集室までお送りください。

財務部長から証紙売上実績についての報告

今年度の証紙売上を報告致します。御参考までに過去3年間の推移も合わせて報告します。

3月末の対比	一般証紙		公囑証紙		合計金額
	枚数	金額	枚数	金額	
H17年度	14,780枚	8,868,000円	4,320枚	1,728,000円	10,596,000円
H18年度	16,090枚	9,654,000円	3,955枚	1,582,000円	11,236,000円
H19年度	13,675枚	8,205,000円	2,920枚	1,168,000円	9,373,000円

Information・事務局



新人会員



氏名 北林 かおり
 登録番号 第632号
 事務所 〒926-0855
 七尾市小丸山台2丁目66番地
 (事)TEL 0767-53-3490
 (事)FAX 0767-53-3495
 登録年月日 平成20年1月10日

法人名 土地家屋調査士法人
 中央グループ
 法人番号 11-0002-22-0001
 事務所 〒920-0062
 金沢市割出町635番地1
 此下ビル
 (事)TEL 076-237-2825
 (事)FAX 076-237-2835
 成立年月日 平成19年9月7日

登録事項変更

※ 氏名 浜本 拓磨
 登録番号 第603号
 事務所所在地 〒920-0348
 金沢市松村4丁目24街区21番地
 (事)TEL 076-266-1273
 (事)FAX 076-266-0117
 変更年月日 平成19年9月5日

※ 氏名 木内 良純
 登録番号 第627号
 事務所所在地 〒926-0032
 七尾市南ヶ丘町6番地5
 (事)TEL 0767-52-8235
 (事)FAX 0767-52-8235
 変更年月日 平成19年12月21日

登録抹消(退会)

※ 氏名 吉田 徳藏
 登録番号 第140号
 届出年月日 平成19年10月31日

※ 氏名 西盛 秀二
 登録番号 第168号
 届出年月日 平成19年12月31日

※ 氏名 向江 民部
 登録番号 第513号
 届出年月日 平成20年1月31日

※ 法人名 土地家屋調査士法人
 中央グループ
 法人番号 11-0002-22-0001
 届出年月日 平成20年3月31日

平成19年度 土地家屋調査士試験

(金沢地方法務局管内受験者分)
 標記試験の合格者が平成19年11月27日発表され、
 下記3名の方が合格されました。
 藤島 信一郎 (白山市)
 北林 かおり (七尾市)
 館 佑介 (金沢市)

● 図書蔵書一覧表 ●

石川県土地家屋調査士会

	図 書 名	著 者・発 行
440	平成19年10月改訂 不動産登記法令集 新信託法・筆界特定制度対応	社団法人 民事法情報センター
441	裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律関係法令集	法務省大臣官房司法法制部審査監督課
442	境界シンポジウム in ぎふ 「境界紛争ゼロ宣言！」 第1回全国ADRサミット	境界シンポジウムinぎふ
443	コンプライアンス・プログラム 土地家屋調査士と独占禁止法	波光 巍
444	土地家屋調査士 筆界特定実務の手引	日本土地家屋調査士会連合会
445	平成17～18年度 研究報告取りまとめ	日本土地家屋調査士会連合会 研究所
446	街区基準点の利用による登記測量 《測量手法と精度管理の標準ガイドブック》	日本土地家屋調査士会連合会 研究所
447	土地境界紛争のための取得時効制度概説 土地家屋調査士の立場から	日本加除出版(株) 秋保賢一 監修 馬渕良一 著
/	民事月報 ~2008年3月	
/	月刊 登記情報 ~2008年3月	財団法人 金融財政事情研究会
/	月刊 民事法情報 ~2008年3月	財団法人 民事法情報センター



編集後記

インターネット社会において、人とのつながりが希薄になりつつある現代でも、私たち調査士の仕事は（どんな仕事でもですが、）人ととのつながりの中で成り立っているのではないかでしょうか。境界問題などは特に人間関係の問題でもあります。

そんな中で、私は、お客様からの依頼にどれだけ応えられるか、どれだけ喜んで頂けるかを常に考え、仕事をし、それを自らの「喜び」としたいものだと思います。

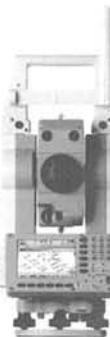
さて、新生広報部に生まれ変わって、この度、第2弾152号を発刊することができました。これまで続けてこられたのも、ひとえに先輩会員方のお陰であり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。「人」「家族」「絆」をテーマにして「人間の内面に少しでも迫っていけたら…」という思いで、この会報を作っておりますが、皆様方のご意見、ご感想はいかがでしょうか。

表紙も内容もリニューアルし、是非とも、皆様方に親しみを持って読んでいただけるものにしたいと思っております。今後とも皆様方のご協力の程、よろしくお願ひ致します。

会報編集室長 西田 稔洋

測量業務を「徹底的に支援する」ライカの測量機

System 1200



ワンマン測量

TPS1200

ハイパフォーマンストータルステーション
GPS1200との完全互換

- リモートコントローラーを使用することでワンマン測量を実現
- 高精度測定技術による高い信頼性
- 簡単、迅速作業で生産性向上

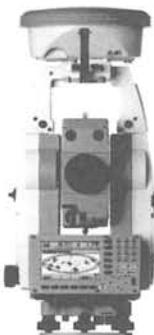


GPS測量

GPS1200GG

ハイパフォーマンス GPSレシーバー
TPS1200との完全互換

- GLONASSに対応
- 迅速、高精度、高信頼性
- 最高の衛星捕捉エンジンとRTK性能



ユニバーサル測量

スマートステーション®

GNSS (GPS/GLONASS) 一体型トータルステーション

ここが
すごい!!

世界初、GPSとトータルステーションが完全合体
ネットワーク型RTK GPSのインフラが整備されている日本の測量現場に最適!
●GLONASSに対応
●圧倒的に作業効率アップ
●生産性の向上で大幅にコストダウン

自動視準トータルステーション



TCRA700

信頼と実績の自動視準
トータルステーション

- 自動視準トータルステーションで出荷実績No.1
- モーター駆動で完全自動対回観測
- ノンプリズム500m

ハイコストパフォーマンス



TPS800

多彩な機能の
進化形トータルステーション

- 漢字表示・大型画面
- 9種類の測量プログラムを標準搭載
- ノンプリズム500m



TPS400

簡単作業で仕事が速い
トータルステーション

- 操作が簡単
- フレキシブルフォームで高い接続性を実現
- ノンプリズム500m

株式会社 測機サービス

〒920-0947 石川県金沢市笠舞本町2-3-3 Tel. 076-222-7044 Fax. 076-222-4788

E-mail : YHY00562@nifty.ne.jp

ライカ ジオシステムズ株式会社

大阪支店 〒540-6131 大阪市中央区城見2-1-61 Twin21 MIDタワー31F Tel. 06-6910-3871
<http://www.leica-geosystems.co.jp>

- when it has to be right

Leica
Geosystems



自動追尾・自動視準・自動対回・長距離ノンプリ搭載。
全てを兼ね備えたハイエンドモデル新登場!!



自動視準
機能

ノンプリ測距
2000m

自動対回
機能

All-round

高速
自動追尾

- 高速自動追尾機能を利用し、効率的なワンマン観測が可能
- 自動視準機能を利用し、快適な観測を実現
- 自動視準モードにより、スピーディな対回観測を実現
- 超ロングレンジノンプリズム測距2,000m

自動追尾パルストータルステーション

GPT-9000A シリーズ **NEW**

完全ケーブルレスでVRS・RTK作業が可能!!
パケット通信により低コストで安定した高速通信を実現。

- 通信モジュール内蔵一体型
- 固定局・移動局完全スッキリ装備
- ケーブルレス・オールインワン受信機



GNSS(GPS/GLONASS)受信機

GR-2100N シリーズ **NEW**



トプコン測量機器 情報提供サイト [Guppy-Net.com](http://www.guppy-net.com) <http://www.guppy-net.com>

株式会社 トプコン販売

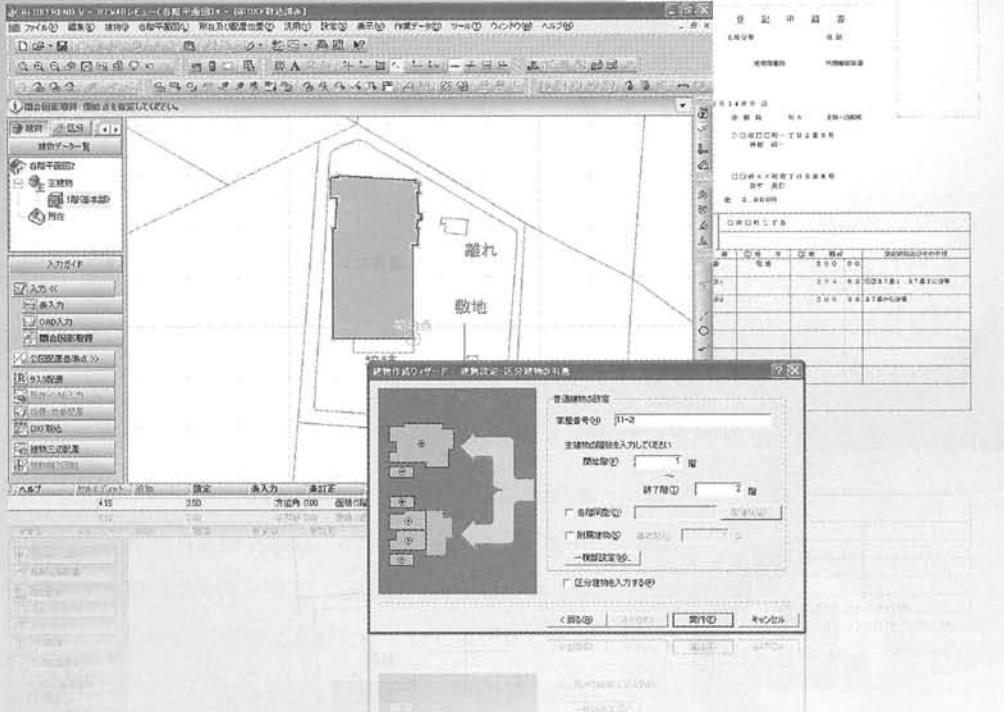
本社・東京営業所 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL (03)5994-0671 FAX (03)5994-0672

測量機器に関するご質問・ご相談

トプコン測量機器コールセンター

電話番号(フリーダイヤル) 0120-54-1199

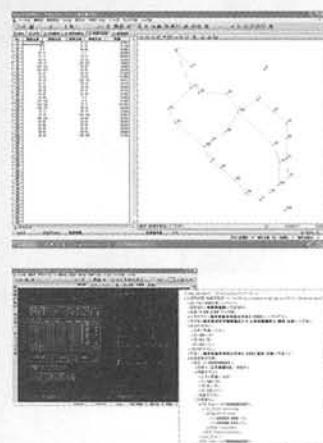
受付時間9:00~17:50
(土・日・祝日・トプコン休業日は除く)



測量計算CADシステム【ブルートレンド V】

測量データの取り込みから各種測量計算、作図、路線計画、構造図など測量設計業務に必要なプログラム群で構成された「BLUETREND V」。電子納品やオンライン申請など、常に最新の業界動向にも対応できる“進化するCAD”は、実務者の要望をフィードバックした使いやすさと実用性を重視した設計で、全国の技術者から多大なる支持を得ています。

世界測地系での基準点測量からオンライン申請まで完全対応!



【基準点手簿記簿作成】

基準点手簿記簿・各種水平・高低網平均データなどを作成します。

【単路線結合トラバース計算（水平網・高低網）】

求められたニーズに対応した単路線計算プログラム。日本測量協会検定済。

【厳密水平・高低網平均計算】

観測方程式1~4級基準点測量用。日本測量協会検定済。

【任意型簡易水平・高低網平均計算】

観測方程式3~4級基準点測量用。日本測量協会検定済。

【点の記作成】

国土交通省公共測量作業規程、都市再生街区基準点成果作成要領準拠。

【各階平面図】

入力ガイドがついた優しいインターフェイスで、建物図面を簡単に作成。

【登記用XML作成】

(2006年11月現在、XML仕様については法務省実証中。)

地積測量図情報XMLデータを生成し、オンライン申請をサポート。

【登記申請書】

プレビューでイメージを確認しながら申請書を作成できます。A4版に対応。

これからはCADで宅地分割!
面積シミュレーションも思いのままに

宅地分割・開発計画業務を支援する

「宅割り計画」新登場!

BLUETREND V Ver.5 オプションプログラム

今までの測量計算では考えられなかった複雑で手間の掛かる工程をCAD画面上で全て行えます。また区分比率表も宅地情報から自動的に作成します。



その他にも、登記業務を圧倒的に効率化するプログラムを取り揃えています! 詳しくは下記拠点までお問い合わせください!

各種資料のご請求は



www.fukucompu.co.jp

福井コンピュータ株式会社 ●おかげさまで東証一部に上場いたしました。

福井営業所/〒910-8521 福井県福井市高木中央1-2501本社ビル5F Tel.0776-52-1630・Fax.0776-52-1670
札幌・青森・盛岡・秋田・仙台・郡山・長野・埼玉・高崎・宇都宮・水戸・千葉・東京・立川・横浜・静岡・名古屋・岐阜・富山・福井・京都・大阪・神戸・阪和・岡山・広島・松山・高松・山口・福岡・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄



テクノロジーの粋をこめた ポケット・シリーズついに解禁。

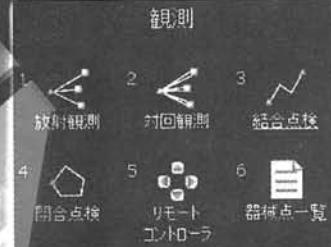
Pocket-Neo

WingNeoで扱う様々な要素が
外業との連携で変わる。

現場名:国調

- 1 現場管理
- 2 観測
- 3 測設
- 4 計算
- 5 自
- 6 設定

Pocket-Neo



Pocket-Neo & PAS

現場も内業も時間に縛られる。
立会や打ち合わせにも
情報が求められる。

収集力&情報携帯を
ポケットのツールに。

NTTドコモのスマートフォン
「htc Z」を採用。※画面は合成によるイメージです。

Pocket-Neo

測量システム「Wing Neo」の同期ユニット「Pocket-Neo」。
点や線の情報収集・作図ツールから
計算、計算結果の現地確認、街区基準点などの既設基準点の現地原研
、リモートコントローラまでを網羅した
内業システム融合形態を実現しました。

一次世代情報収集端末

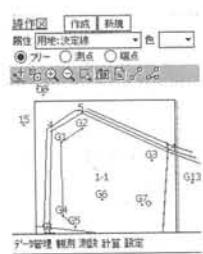
ハイブリッド・コントローラ

Pocket-PAS

NTTドコモの「htc Z」の通信ボタンを最大限に発揮。
Pocket-Neoと同時リリースの「Pocket-PAS」は、
GPS観測（PAS・FKP）に必要とされてきた端末性能をシンプルにケータイに凝縮。
Pocket-Neoとの併用で、お使いのGPS受信機も、トータルステーションも、この1台でフルに活かされます。



AISAN
TECHNOLOGY
POCKET CONCEPT,
HYBRID CONTROLLER.



境界点検結果		
点検区分	平地	山林
境界1	1	2
境界2	12	12
距離	*	*

写真 [9]
[カーソル] [ファイル] [写_境界.jpg] [削除]



同期実行中！



しばらくお待ちください



アイサンテクノロジー株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目7番14号 ATビル 本社事業推進本部 TEL (052) 950-7500
札幌 TEL (011) 716-0472 北陸 TEL (076) 248-2228 神戸 TEL (078) 361-6741 福岡 TEL (092) 482-6123
仙台 TEL (022) 773-1885 静岡 TEL (054) 202-1690 広島 TEL (082) 294-3533 熊本 TEL (096) 387-5225
東京 TEL (03) 5779-1221 四国 TEL (087) 815-1821 沖縄 TEL (098) 942-4675
新潟 TEL (025) 247-2825 大阪 TEL (06) 6943-6191

街区基準点取付～一筆地測量までの流れも
「ハイブリッド・コントローラ」が変える。

SOKKIA

心をこめて世界へ

SRX

モータードライブ

トータルステーション

自動対回機能

電子野帳機能

標準装備！！

- ・フルワイヤレス
- ・進歩したRED-techEX
- ・多彩なインターフェース



「SRX」のハンドル部には、長距離でも通信可能なBluetooth®クラス1を、プリズム側のRCリモコンには、Bluetoothクラス2を搭載。現場での通信は、全てBluetoothでおこなう「フルワイヤレスシステム」です。



フルワイヤレス



操作パネル横には、USBポートやCFカードドライブを搭載。多彩な方法でデータリンクが可能です。また、電子メールでデータを送受信するSFXダイアルアップ機能も搭載していますので、現場～事務所間でデータの送受信が可能です。



移動に集中！



クイックスタート！

GSR2700IS

オールインワンGPS測量機

RTK-GPS観測時に効率的なオールインワン・デザイン。

- ・Bluetooth無線を標準装備し、コントローラへのケーブルから開放されます。

- ・オールインワンモデルは、常に衝撃や粉塵・雨にさらされており、ソキアはボディーをマグネシウム合金を採用し、JIS保護等級IP67に準拠。高い耐環境性と耐衝撃性を持ち合わせます。

- ・受信状態、メモリーやバッテリーの残量など、音声でガイダンス機能を搭載しています。



株式会社ソキア ISO9001認証取得 (JQA-0557)

<http://www.sokkia.co.jp>

神奈川県厚木市長谷260-63 〒243-0036

株式会社ソキア販売 東京都世田谷区用賀2-31-7 〒158-0097

□北海道 011-611-3441 □東北 022-257-3466 □東京 03-3708-4911
□東関東 047-309-7370 □名古屋 052-777-8877 □浜松 053-460-1051
□北陸 076-494-1300 □大阪 06-6302-3931 □四国 089-970-8158
□広島 082-235-3020 □松江 0852-31-4300 □九州 092-472-3559
□沖縄 098-877-7007 □本社 03-6684-0846

測量機・試験器・気象器械・複写機・OA機器

K 株式会社 **金沢測機**

〒920-0058 金沢市示野中町1-29
TEL 076-222-8787 FAX 076-221-3773

会報 いしかわ 第152号

発行所 石川県土地家屋調査士会
金沢市新神田3丁目9番27号
TEL 076-291-1020
FAX 076-291-1371
<http://www.spacelan.ne.jp/~isicho/>
E-mail:isicho@spacelan.ne.jp

編集 広報部
発行日 平成20年4月
印刷所 株式会社 高松印刷

不動産表題登記の専門家

「とちかおくちょうさし」

境界トラブルの解決支援いたします

土地家屋調査士は、土地を識り、
人と社会のためにつくす「地識人」で
あります。

●土地を買う

土地の境界線を公正な立場で確認のうえ境界標識を設置し、
土地境界確認書を作成します。

●建物を建てる

境界立会いや敷地に関する調査・諸手続のお手伝いをします。

●登記の申請

調査および測量の結果をもとに土地や建物の登記を申請します。

境界確認書をつくりませんか？

いったん杭を埋設しても工事で抜けてしまったり、毀損したり、
動いたりすることがあります。

また所有者が変わって面積が少ないとか、公図と違うとかの
クレームが発生したりすることもあります。

既に確定した境界であること、又境界を復元することが出来る
境界確認書（境界杭の記載された測量図添付）を
作成、保管されることが財産管理の基本です。



石川県土地家屋調査士会
境界問題相談センターいしかわ

〒921-8013 石川県金沢市新神田3丁目9番27号
TEL.076-291-1020 FAX.076-291-1371
相談専用076-291-1125
<http://www.ishicho.or.jp/>